

# 転落防止床トップコート他更新工事

## 設計図

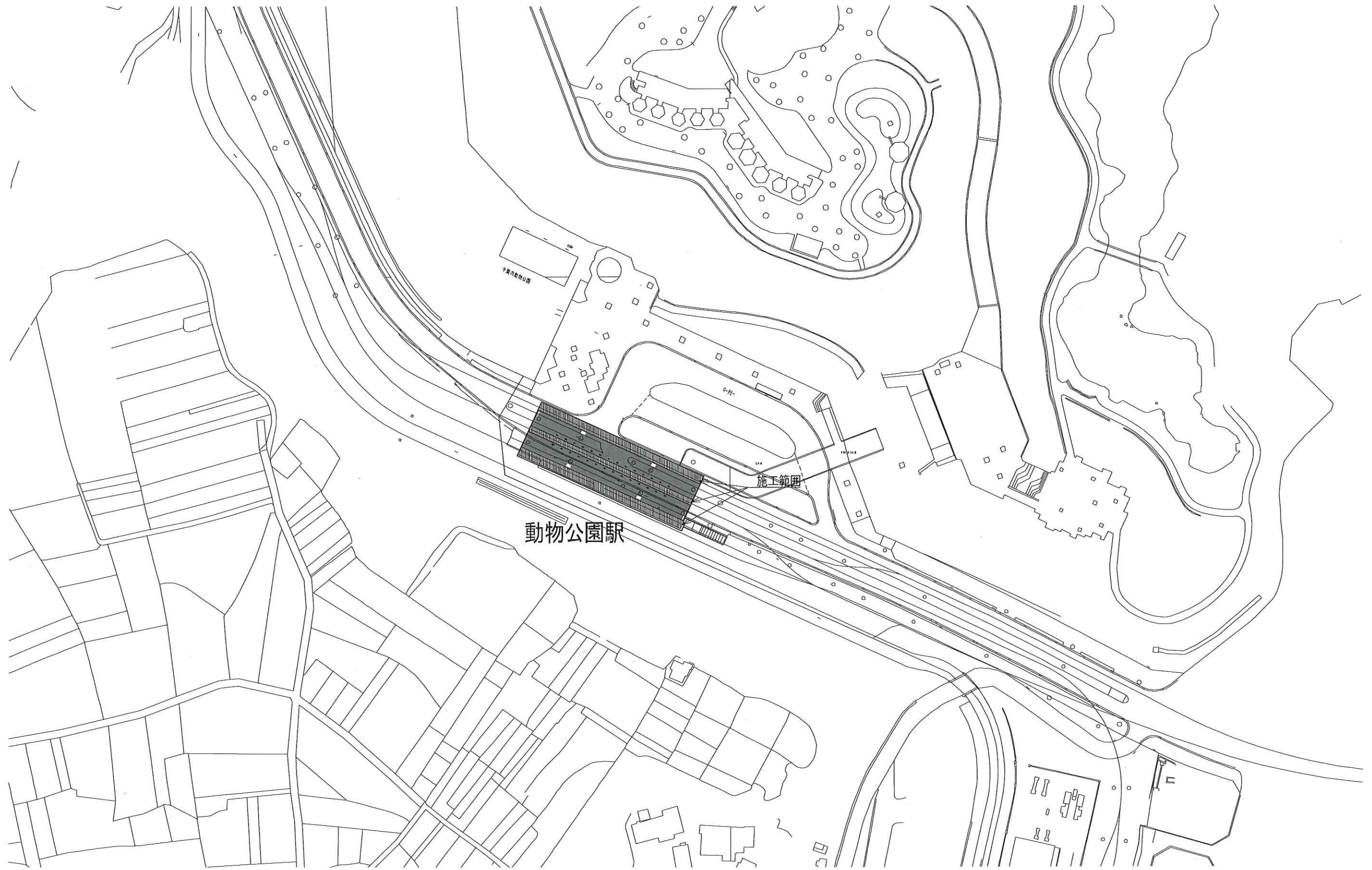
令和元年9月

西 *			千葉都市モノレール株式会社	発行	調査	図面	工事名称	転落防止床トップコート更新工事(動物公園駅)	図面名称	表紙	日付		図面 番号
							工事箇所	動物公園駅			図面 尺		図面 番号

# (動物公園駅)

図面目録	
配置図	1/1000
補修図 (動物公園駅・防水層)	図示
補修図 (動物公園駅・振れ止め装置)	図示

配置図



千葉都市モノレール株式会社

管理 調査 計画

工事名称 転落防止床トップコート更新工事(動物公園駅)

工事箇所 動物公園駅

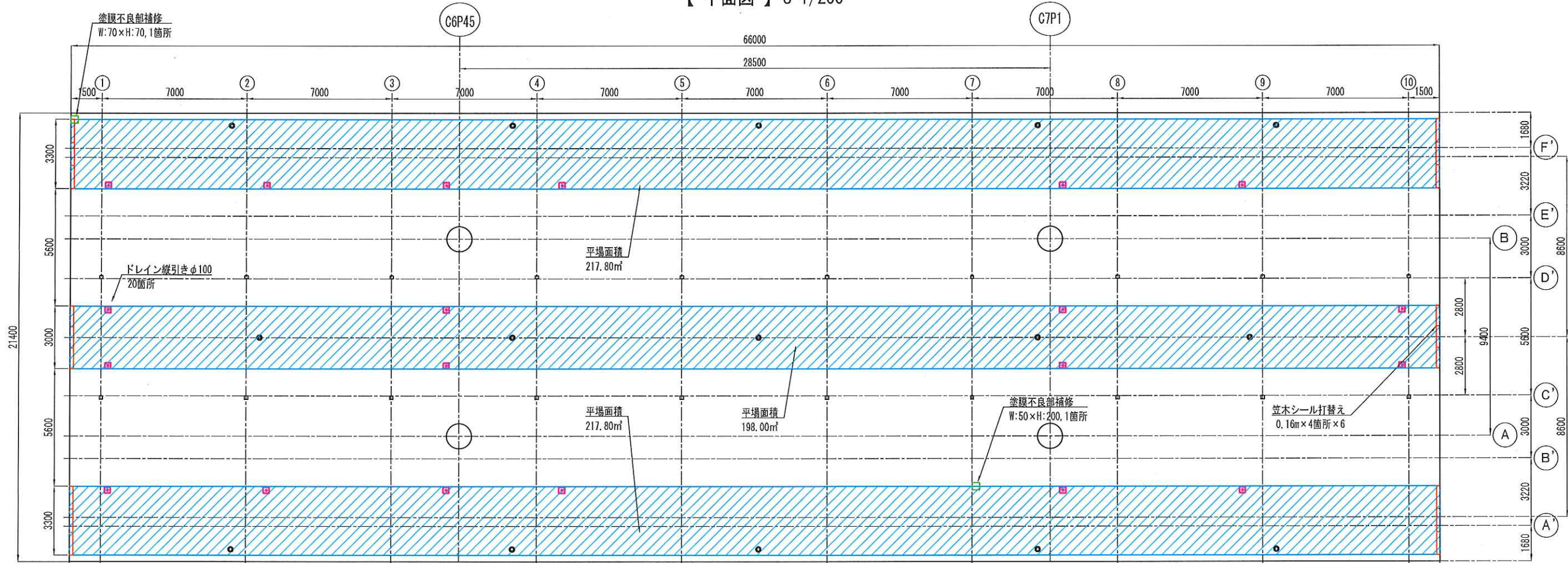
図面名称 配置図

日付	図面番号
規模	1 : 1000
枚数	1/3

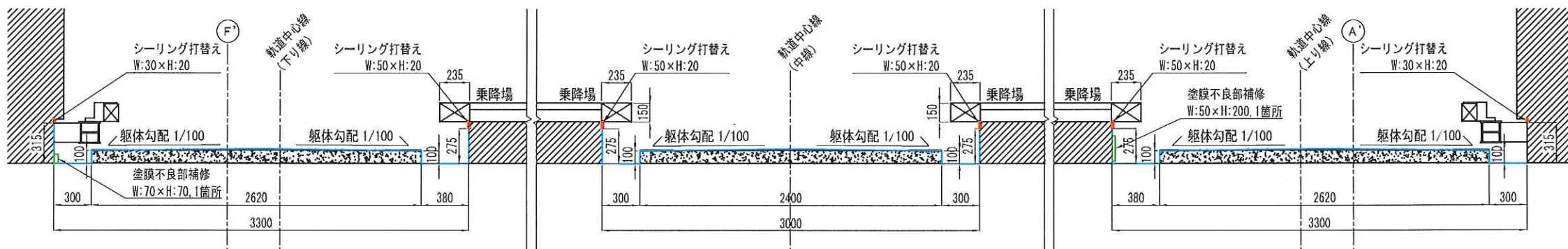


# 補修図（動物公園駅・防水層）（S=図示）

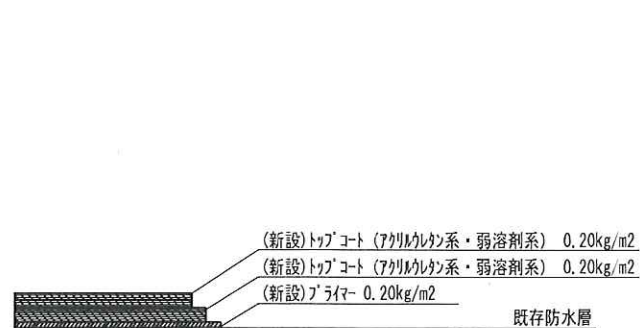
【平面図】 S=1/200



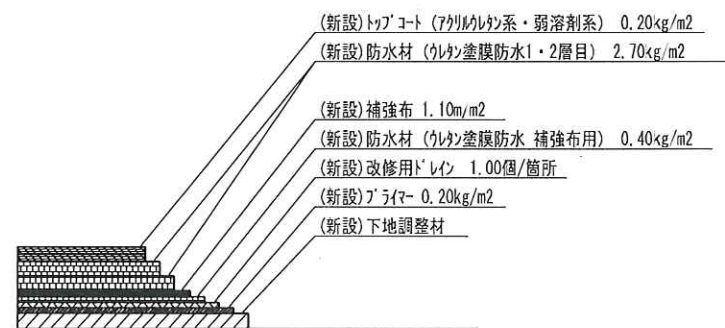
## 【転落防止床詳細図】 S=1/40



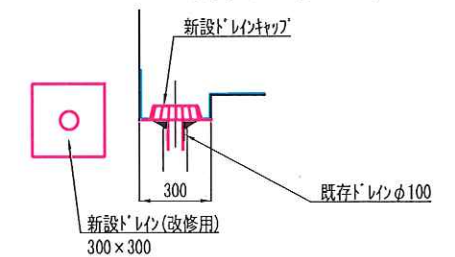
## 【トップコート塗替え仕様（参考）】



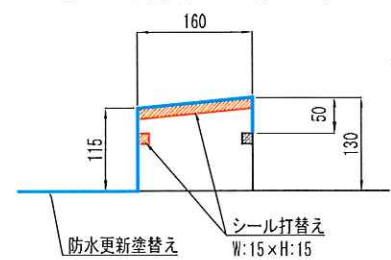
## 【ドレイン回り防水改修仕様（参考）】



## 【ルーフトレイン詳細図】 S=1/30



## 【笠木詳細図】 S=1/10



### 凡例

表示	防水仕様
	シーリング打替え
	防水層更新

- ※ 既存ドレインの内径を確認し、現場に適した改修用ドレインを取り付けること。
- ※ ドレインキャップの仕様については発注者に確認を取り、施工すること。
- ※ 防水材は、公共建築工事標準仕様の同等以上の防水性能を有し、製品の仕様に準拠して施工すること。
- ※ また、既存防水層に合った防水材を選定すること。
- ※ シーリング材は変性シリコン(MS-2)を使用すること。
- ※ 転落防止床表面にわれ、ふくれ等が発生している場合は、適切に処置を行った上、施工すること。
- ※ 笠木部は、下地に合ったプライマーを塗布後、防水材を塗布すること。
- ※ 既存防水層の撤去範囲は、施工時に状況を確認の上、範囲を変更する場合は発注者に確認すること。
- ※ 既存防水層撤去後、必要に応じて下地調整を行うこと。

千葉都市モノレール株式会社

工事名称 転落防止床トップコート更新工事(動物公園駅)

補修図(動物公園駅・防水層)

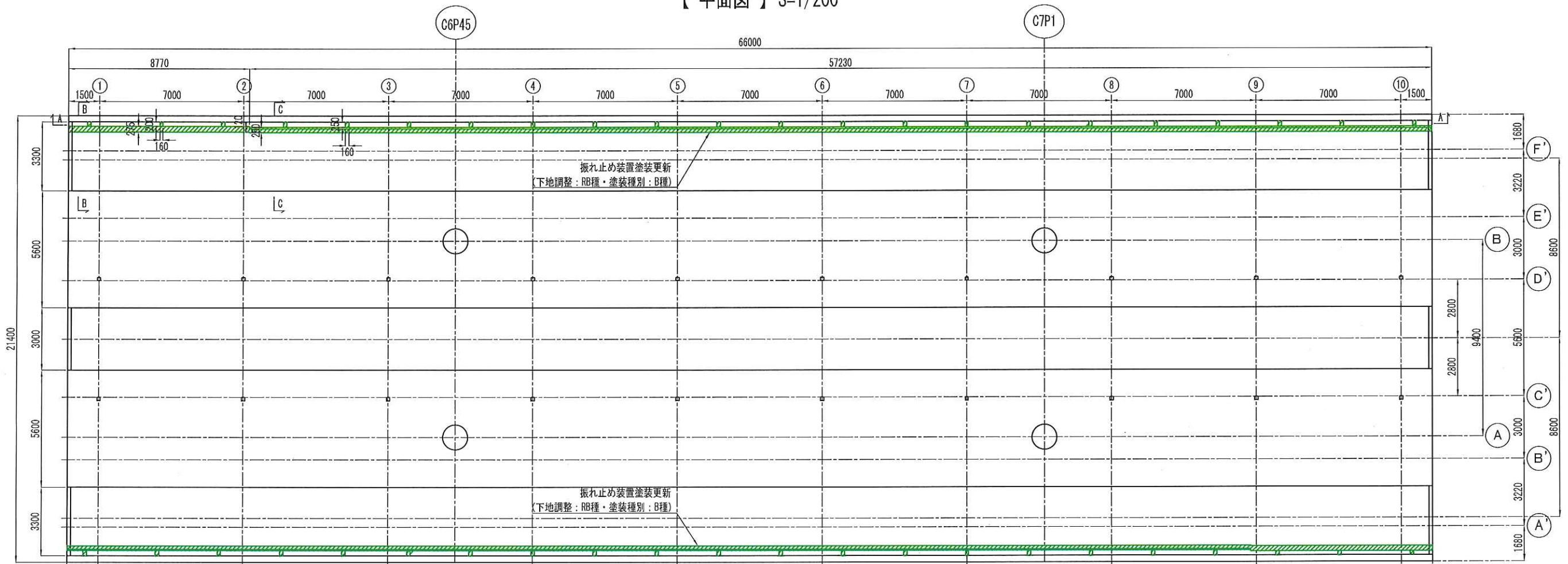
図示

2/3

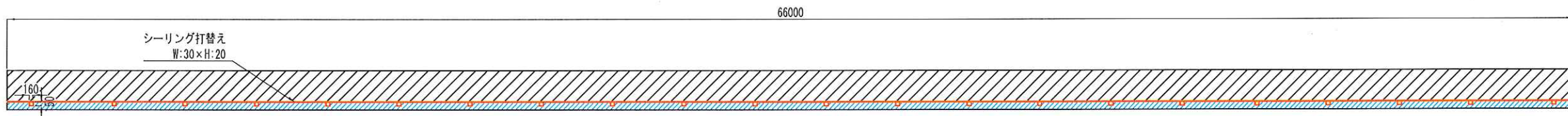


# 補修図 (動物公園駅・振れ止め装置) (S=図示)

【平面図】 S=1/200



A - A S=1/200



## 塗替塗装仕様 (参考)

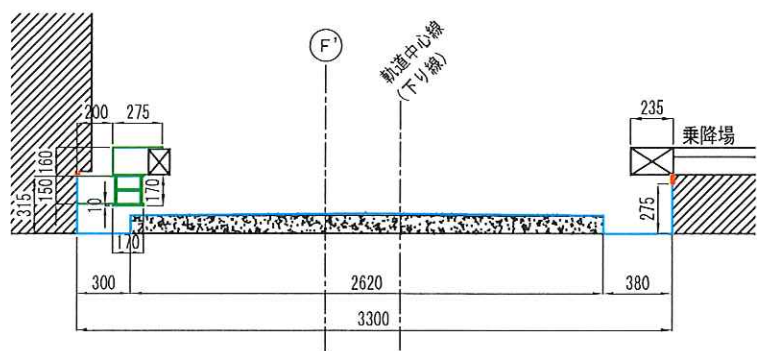
既存下地			
下地調整	RB種 既存塗膜・さびの除去 汚れ・付着物・油類除去、研磨紙すりP240~320	研磨紙すり	研磨紙P120~220
下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー 0.14kg/m <sup>2</sup>	中塗り	鋼構造物用耐候性塗料 0.14kg/m <sup>2</sup>
下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー 0.14kg/m <sup>2</sup>	上塗り	鋼構造物用耐候性塗料 0.10kg/m <sup>2</sup>

### 凡例

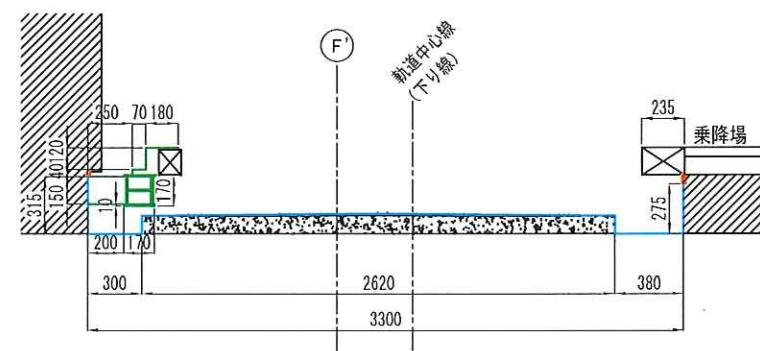
表示	防水仕様
	シーリング打替え
	防水層更新
	揺れ止め装置塗装更新

※腐食部または欠損部を有する部材の補修および撤去については、監督員と協議すること。  
 ※上塗り塗装色は、発注者と協議の上、決定すること。  
 ※使用する材料については、事前に付着試験を実施すること。  
 ※塗装仕様については、公共建築改修工事標準仕様書の性能と同等以上とすること。  
 ※シーリング材は変性シリコン (MS-2) を使用すること。

B - B S=1/40



C - C S=1/40



千葉都市モノレール株式会社

工事名称 転落防止床トップコート更新工事(動物公園駅)

工事場所 動物公園駅

補修図 (動物公園駅・揺れ止め装置)

図示 3/3

# (みつわ台駅)

図面目録	
配置図	1/1000
補修図(みつわ台駅)	図示



# 位置図

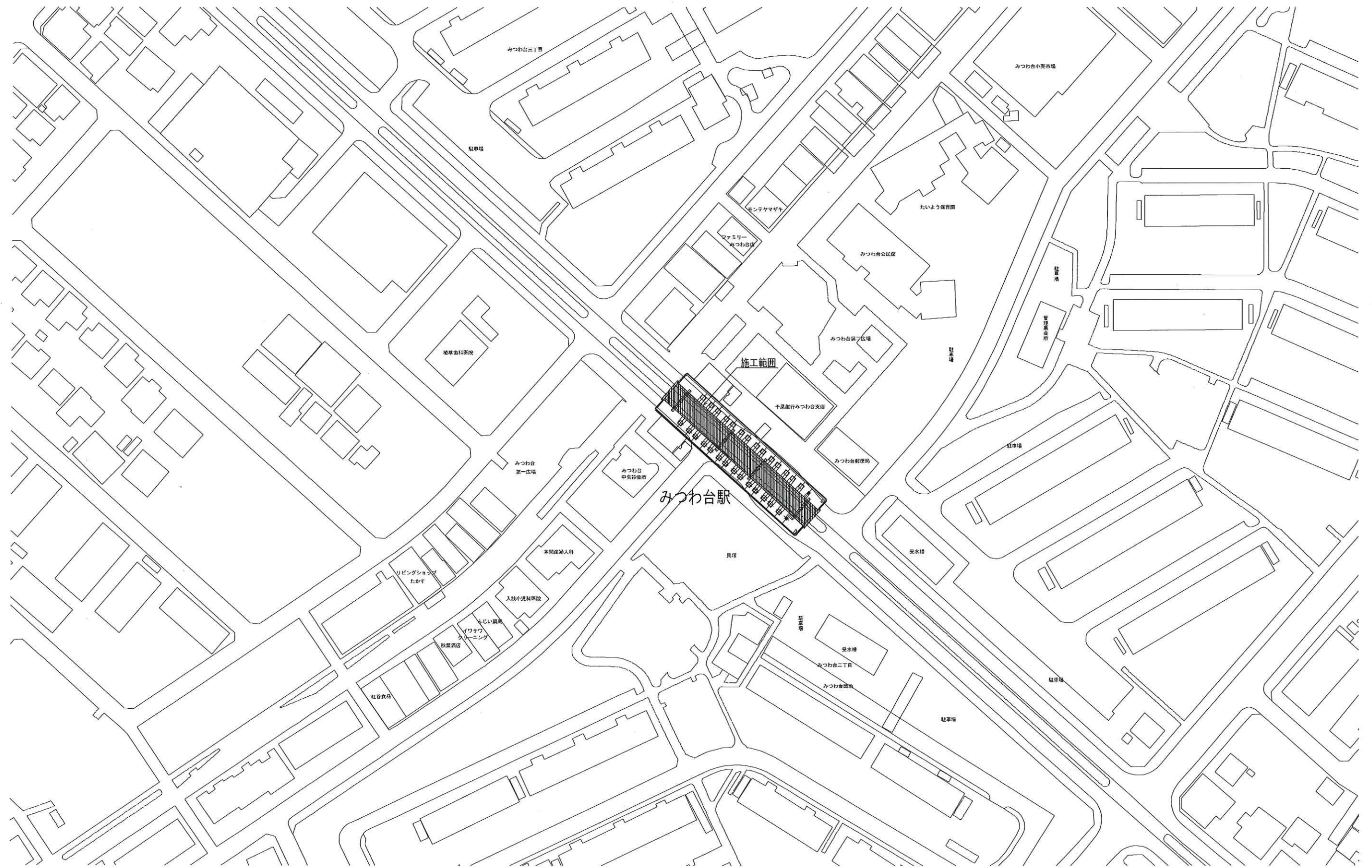
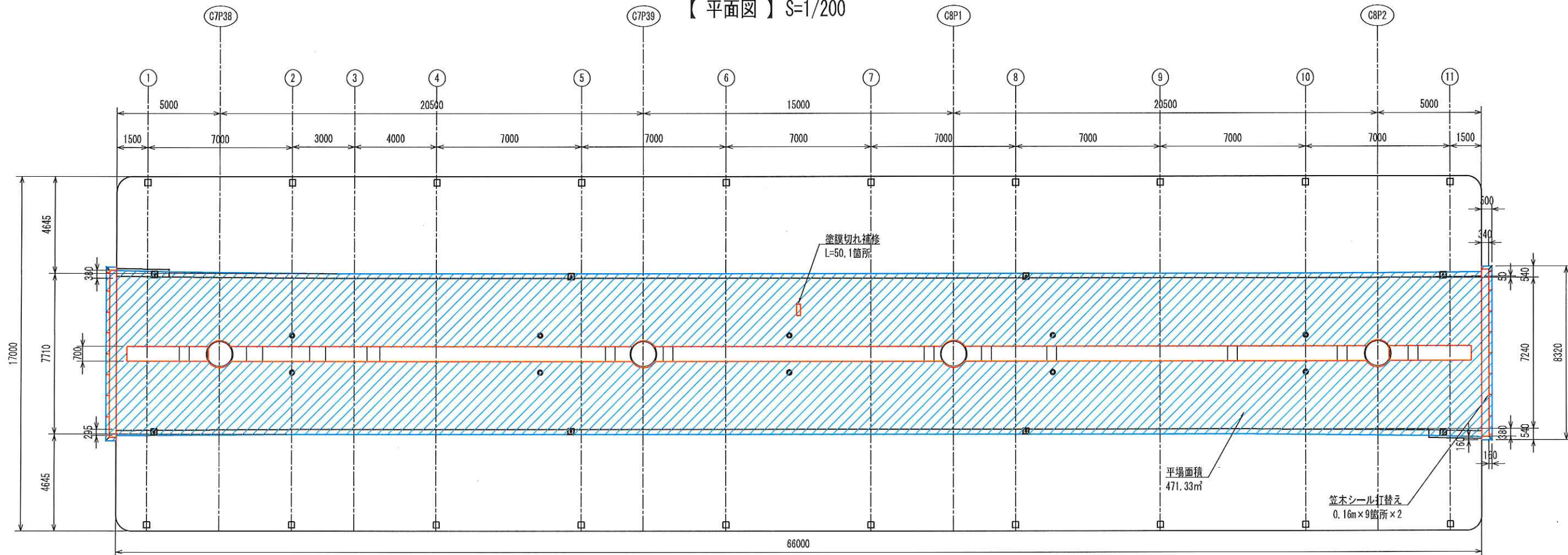


図 号	千葉都市モノレール株式会社				管理 課 課 長	工事名称 転落防止床トップコート更新工事(みつわ台駅)	図面名称 位置図	口 尺 1 : 1000	図 番 号 1/2
						工事箇所 みつわ台駅			

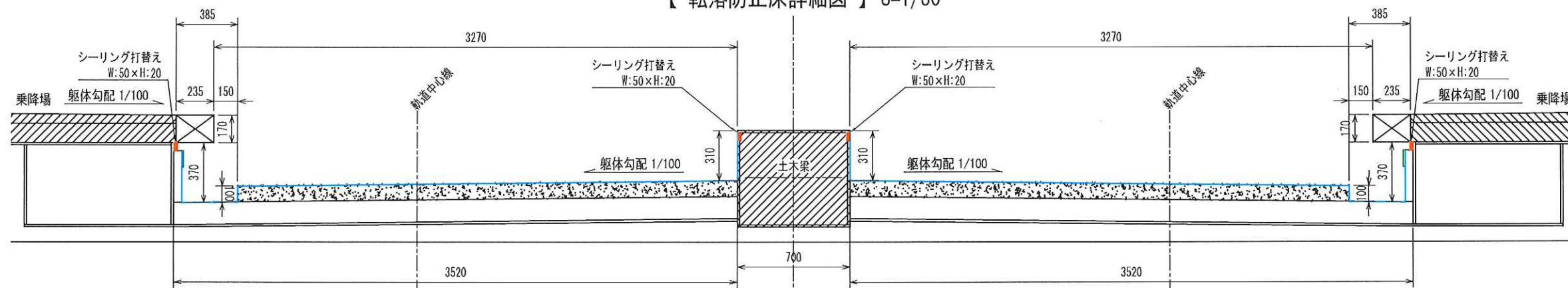


# 補修図 (みつわ台駅) (S=図示)

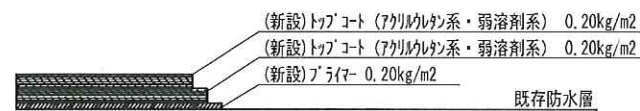
【平面図】 S=1/200



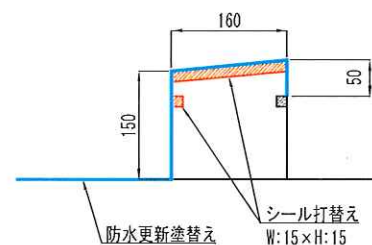
## 【転落防止床詳細図】 S=1/30



## 【トップコート塗替え仕様 (参考)】



## 【笠木詳細図】 S=1/10



- ※ 防水材は、公共建築工事標準仕様の同等以上の防水性能を有し、製品の仕様に準拠して施工すること。
- ※ また、既存防水層に合った防水材を選定すること。
- ※ シーリング材は変性シリコン(MS-2)を使用すること。
- ※ 転落防止床表層にわれ、ふくれ等が発生している場合は、適切に処置を行った上、施工すること。
- ※ 笠木部は、下地に合ったプライマーを塗布後、防水材を塗布すること。

### 凡例

表示	防水仕様
	シーリング打替え
	防水層更新

千葉都市モノレール株式会社

台帳

調査

図説

工事名称

転落防止床トップコート更新工事(みつわ台駅)

図番

補修図 (みつわ台駅)

図名

図示

図番

2/2